

卸売・小売業



特殊鋼の24時間完全自動化切断工場



材料供給→切断→測長→刻印→荷積み→移載 の完全自動化による安全性と生産性の向上

背景・課題

静岡DFの新工場建設に先立ち、旧営業所では老朽化、本社のBCP対策不足、クレーンやフォークリフト作業に伴う安全性への懸念、切断長さ入力ミスによる不具合、教育に時間がかかるといった課題がありました。これらを解消し、効率のかつ安全な作業環境を実現するため、完全自動化工場の建設を決断しました。

創意工夫した点・得られた成果・今後の展開

完全自動化切断工場の導入により、安全性が飛躍的に向上しました。また旧営業所と比較して受注処理件数が250%増加し、特に少ロット多品種への対応力が大幅に強化されました。さらに、レーザー刻印の導入により現品票レスを実現し、モノと情報の統一化を推進しました。今後は稼働率のさらなる向上を目指すとともに、設備保全を強化し、安定的かつ持続的な運用を実現していきます。



川本鋼材株式会社

代表取締役社長 川本 哲也

本社 愛知県あま市北苅三本柿151-1

